

## 第三〇号発刊にあたって

コロナ禍の影響で、各種イベント案内や報告を掲載できないことから、発刊を見送ることも検討されましたが、こんな時だからこそ明治大学の「前へ」の精神で発刊しようという意見がまとまりました。

第三〇号は、世田谷区地域支部役員有志による寄稿により構成しております。校友の皆様様の「明治大学と私」「校友会と私」を考える一助になれば幸いです。

■校友会に参加して

田中雅和 平成三年経営学部卒

約八年前、当時行きつけの飲み屋でお会いした明大卒の方から、校友会東京都西部支部の定時総会・懇親会に誘われた。正直なところ、行っても知り合いもいないだろうし、あまり楽しくないだろうと思っていたが、一回だけのお付き合い合いと思つて参加した。

定時総会は滞りなく終了し、懇親会が始まった。参加者は、ご年輩の方ばかりと勝手に思っていたので、歳の近い方や自分より若い方も数人いて、驚いたのを覚えている。

懇親会が始まったときは、少し緊張していたが、先輩方が気さくに話しかけてくださり、次

第に緊張も解けて、楽しい時間を過ごしていた。

そんな時、応援団のステージが始まった。神宮球場での六大学野球応援終了後、懇親会に駆けつけてくれた応援団による第一応援歌・チャンスパタンメドレーは、パワフルで若さに溢れ、とても素晴らしく、元気を貰った。このことがきっかけで、六大学野球の応援にハマリ、最近では、ラグビー、アメリカンフットボール、アイスホッケー等、大学スポーツの応援に忙しい休日を過ごしていた。

しかし、今年は新型コロナウイルスの影響で、野球とラグビーはテレビで応援、アメフト等は無観客開催のため、応援に駆け付けることも出来ないのが残念でならない。

一日も早く、応援団のリーダーのもと、神宮球場の応援席で、明治大学の校歌を大きな声で歌える日が来ることを願っている。

■昨今の明治大学

本橋尚樹 昭和五十七年法学部卒

先日、りそな銀行の岩永省一社長(りそな銀行は頭取という管掌を使わない。)にお会いした。岩永社長は明治大学経営学部平成元年卒である。すらりとした好青年である。

先日、顧問先会社の常務取締役と会食した。彼は東京大学出身である。会食の最中、ぼそぼ

そと、実はうちの息子ね、明治大学法学部に入学したんだよ、先生の後輩になった。

先日、司法研修所同期の弁護士(ただし、年齢は私より九歳も若い)と会食した。彼は、東京大学法学部出身である。かなりお酒が回ってきたところで、あのさ、うちの息子、本橋さんの後輩になった、明治大学情コミだよ。

先日、顧問先会社の法務部に新人女性弁護士が入社した。彼女は明治大学法学部卒である。この会社、早慶出身者が多い中、彼女のニューtral感(ニュートラル感)は際立っており、今後の活躍が大いに期待できるところである。

明治大学は、今や、名実ともに私学の有名トップブランドとなった。これを手放しで喜んでよいのかどうか、昭和五十七年卒の私にはわからない。あのころのあか抜けな、女子学生に全く人気のない質実剛健を旨とするごつてカツコ悪い明治大学が懐かしくもある。

コロナ禍の中、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

■校友会世田谷区地域支部と私

能口尚士 平成十八年度経営学部卒

私は、世田谷区地域支部に所属するまでに何年もかかりました。校友会の案内を何年も頂いており、いつか行ってみようと思っていました。

二〇一一年の東京都西部支部総会の案内をいただいた際に参加したのが最初でした。総会では地域支部の皆さんが暖かく迎えてくださり、楽しい時間を過ごしたことを覚えています。

その後、支部主催のバーベキューやラグビー観戦、新年会など年中行事に参加し、自分自身も役員として活動をする中で地域支部の皆さんと仲良くさせて頂きました。

私自身は会社勤めをしており、役員会やイベントに毎回参加できるわけではありませんが、参加できるタイミングで活動に参加しています。校友会に興味を持たれ、いつか行ってみようとお考えの方は、是非、総会等のイベントにご参加されますことをお勧めいたします。

年中行事、校友との交流、支部運営など、大学贊助の活動の中で楽しい時間を過ごせるはずです。メールでも、ホームページからでも結構ですので、皆様のご連絡をお待ちしております。

#### ■明治大学と私

大瀧直美 昭和六十二年度工学部卒

懐かしい日本武道館での入学式の日から、縁あって世田谷支部の役員をさせて頂いている今日まで、明治大学を通して様々な経験をさせて頂きました。

あつと言う間の四〇年間でしたが、大勢の

方々との出会いもあり、お陰様でたくさん大切な思い出が出来ました。

もちろん楽しかった記憶が圧倒的に多いのですが、後悔や反省すべきことも少なくありません。

特に入学当初に所属した舞踏研究部をほんの数ヶ月で辞めてしまったことは、学生時代を通して一番の心残りです。

退部の際、ある先輩がとても熱心に引留めて下さいました。

何故辞めたのか？と話を聞いてくれただけでなく、手書きの手紙(携帯メール等はない時代でした)も何通か頂きました。

それでも気持ちは変わらず、結局最後はその先輩を避けるかのような形で辞めることとなり、とても無礼な結果となってしまいました。

出来ることならもう一度お会いして、改めて感謝とお詫びの気持ち、続けていれば良かったと後悔している気持ちをお伝えしたいです。

卒業後、社交ダンスの文字を目にする度に何度か再挑戦を考えましたが、未だ手付かずのままです。

コロナ禍の影響で友人や家族とも自由に会えない自粛生活が続くまま、もう今年も終わりが見えて来ました。

時間の大切さを実感させられ、後悔しないよう出来ることは出来るうちにやろう！と気持ち

を新たに終息を待ちわびています。

#### ■二〇二一年度校友会活動実施に向けたキックオフ☆

山口智胡 平成二十六年経営学部卒

今年はコロナ禍で思うように世田谷支部での交流会やイベントが実施できなかったことで、改めて人と人との繋がりが重要であることを個人としてはかなり思い知らされた年でした。

まだ、コロナがどうなるか目処は立たないものの、コロナが落ち着きましたら校友会活動も再開したいと考えております。

そのため、来年の校友会活動の方針を決めるべく、三軒茶屋にございます「巴寿司」様を貸切にしていたいただき先日訪問させていただきました。

久しぶりに役員の方々とお会いしたこともあり、近況の報告だけでかなりの時間が経ちま



したが、「楽しい校友会」を作るために、どのような活動をするべきか真剣にお話できる良き仲間となりました。

私としては、明治OB・OGの繋がりがどんどん希薄になっていく部分が非常にもったいないと感じております。二十代の若手の社会人もどんどん校友会に参加していただけるような取り組みをしていければと思います。

巴寿司様に関しては、お食事の席ごとにパーテーションで区切られており、コロナに対応した環境で安心してお食事を楽しむことができました。

ぜひ、世田谷校友会の皆様もコロナが落ち着きましたら訪問してみたいかがでしょうか？  
◎「巴寿司」 ※明治校友の方のお店です。

世田谷区三軒茶屋1-6-14 03-3421-3548

#### ■現役の学生諸君に感謝

渡辺正樹 昭和六十一年度文学部卒

「やっぱり、明治がいいんじゃないか。」

中学卒業以来ずっと水道屋一筋で、「俺には学校や勉強のことはわからない」と言い続けた父の生涯一度の進路に関するアドバイスである。学費が安く、当時他大学ではなく明治進学を決めていたが、そんな父だったから、その一言には正直驚いた。古株の職人さんには「まあちゃ

んが明治大学に入って親方すごく喜んでたよ」と教えられた。以来、嬉しそうに「今年の明治は強いな。」「明治もう一歩だな」という父。明治の野球・ラグビー・駅伝のファンである。

「明治が全然テレビに映らないのよ。」

マラソン・駅伝が好きなのは、箱根で下位に甘んじる明治にも応援の声を掛け続けた。

この原稿をお読みいただく頃、明治校友・関係者だけでなく、母にとつての「七十二年振りの箱根の悲願」も叶っていることを心より祈っている。

世田谷と実家の横浜は近いにもかかわらず、年に数回しか顔を見せない私と違い、明治は本当に「親孝行」だ。だから私は両親を喜ばせてくれる明治大学に、明治の現役の学生諸君に心から感謝している。

明治を卒業したら、多くの方に校友会活動に参加してほしいと願っている。共に活動するなかで、少しばかりだが両親の分も恩返ししたいからだ。

#### 寄附者一覧

二〇一九年度・二〇二〇年度において、ゆうちょ銀行の口座振込にて左記の方よりご寄附をいただきました。心より感謝申し上げます。  
(敬称略・順不同・匿名希望者除く)

#### ■二〇一九年度

本橋尚樹、谷本浩、永井伸彦、西村俊雄  
坊坂貞康、府川幸重、宮里奎、篠原真一  
平山茂、紀平了、三田民生、坂野良行  
山浦仁、石田一子、大河内宏、野口英紀  
堤作太郎

#### ■二〇二〇年度

河村博、大槻正明、森屋武、梶原研  
牧野義之、篠原真一、井草幸雄、武市通孝  
宮里奎、梅村典輝、石田一子、武田忠  
古川隆、山本耕司、新井孝、谷本浩  
小亦斉、立石由利子、立石靖彦、藤原利親  
知久俊、奥福雄、棧康子、藤田圭子  
森正昭、村岡健、松林久行、山本建夫  
永井伸彦、小川廣男、清水孝

#### 【メールアドレス登録のお願い】

氏名・卒年・学部・住所・電話番号等記載のうえ左記までメールください。

E-mail: mei.ji-setagaya@jcom.zaq.ne.jp